

【小牧市の概要】

- ・ **人口** 149,997人（令和5年10月1日現在）
- ・ **面積** 62.81km²
- ・ **合計特殊出生率** 1.58（平成25～29年）
- ・ **未婚率（25～39歳）** 女性36.8% 男性54.4%（令和2年）
- ・ **有配偶出生率（15～49歳）** 64.1（令和2年）
- ・ **高齢化率** 25.4%（令和5年10月1日現在）
- ・ **昼夜間人口比** 118.4（令和2年）
- ・ **地域の特徴** 愛知の北西部、名古屋市の北方約15km、濃尾平野のほぼ中心に位置。名神・東名高速道路、中央自動車道の結節点として、さらに県営名古屋空港を擁するなど、恵まれた広域的交通条件を生かした内陸工業都市



【小牧市における課題及び目標】

課題

- ・ 出生数は減り続け、死亡数が増加しているため、自然増減はマイナスの状況が続いている。
- ・ 令和24年頃までは生産年齢人口の減少と老年人口の増加が続くと予測されており、これによって、今後さらに医療・介護等の社会保障関連経費の増大や働き手の減少による地域経済社会の活力の低下が懸念される。

目標

- ・ 少子化における小牧市の現状を確認し、必要とされる対策を検討する。

【STEP1 部局横断的な検討体制の構築】

- ・子育てやまちづくりに関連する部署の職員、年代的に子育て世代にあたる職員で構成した。
- ・令和5年度に新設された「出会い・結婚支援室」の職員を構成に加えた。
- ・議論の散逸を防ぎ、活発なやり取りができるよう、必要最小限の人数で構成した。（構成員5人、事務局4人）



【STEP2 客観的指標の分析による地域特性の見える化】

- **経済的不安・仕事との両立などの理由で未婚率が高いため、出生率が低くなっているのではないか。**（→結婚に関する要因）
- **経済的不安・仕事との両立・高齢出産などの理由で、有配偶出生率が低くなっているのではないか。**（→出産に関する要因）



【STEP3 主観調査による地域特性の把握】

- **結婚に関する要因について**
 - ・出会い・結婚支援室のアンケートを分析した。
 - ➔ **経済的不安・仕事との両立を抑えて、「異性と出会う機会(場)がない」をはじめとした交際に関する課題が最も大きかった。**
- **出産に関する要因について**
 - ・結婚している20～40代の出産等に対する考えや現状を把握するためにオンラインアンケートを実施した
 - ➔ **仕事との両立・高齢出産を抑えて、子育てなどの経済的不安が最も大きかった。**



【STEP4 地域の強み・課題の分析 STEP5 対応策の検討】

- **結婚支援委託事業・婚活支援補助金で交際に関する課題に対応**（出会いの場の提供 等）
- **結婚・妊娠・出産・子育てのポジティブな情報発信で経済的な不安に対応**（結婚・妊娠・出産・子育て情報集約サイトの見直し 等）

STEP 1 部局横断的な検討体制の構築

- 子育てやまちづくりに関連する部署の職員、年代的に子育て世代にあたる職員で構成した
- 令和5年度に新設された「出会い・結婚支援室」の職員を構成に加えた
- 議論の散逸を防ぎ、活発なやり取りができるよう、必要最小限の人数で構成した

部局	課室	役職
市長公室	秘書政策課	課長
こども未来部	出会い・結婚支援室	室長
こども未来部	こども政策課	主任
こども未来部	子育て世代包括支援センター	主事
健康生きがい支え合い推進部	健康生きがい推進課	主事
都市政策部	東部まちづくり推進室	主査

- 外部有識者会議として既存の「小牧市まち・ひと・しごと創生推進懇談会」に意見を求めた

構成

産業に関し識見を有する者 金融機関の代表 労働者の現状についての識見を有する者
 こども、子育てに関し識見を有する者 出版、広告等の業に関係する者 福祉機関の代表
 地方創生アドバイザー

● 数多くある指標のうち、合計特殊出生率へ与える影響が大きいものを相関係数で絞り込んだ

相関関係が強い順に、**女性未婚率・男性正規雇用者比率・有配偶出生率**となった。

また、**女性未婚率**と最も強い相関関係にあるのは、**男性正規雇用者比率**となった。

↓ 小牧市の順位は…

※未婚率が最も低い(=既婚者が最も多い)市を1位とした場合

女性未婚率

… 県内市 **30** 位/38位

男性正規雇用者比率

… 県内市 **35** 位/38位

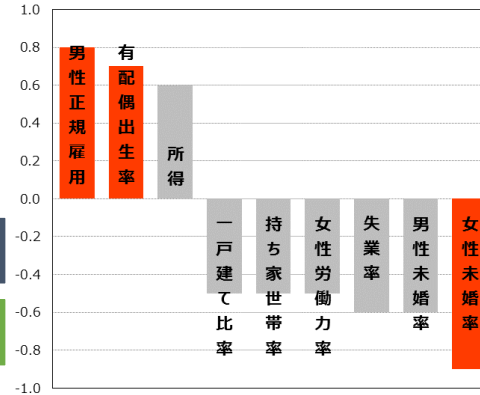
有配偶出生率

… 県内市 **32** 位/38位

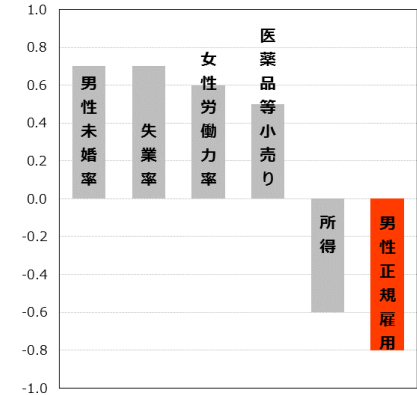
結婚の側面

出産の側面

合計特殊出生率との相関係数



女性未婚率との相関係数



少子化の要因仮説を設定！

経済的不安・仕事との両立などの何らかの理由で未婚率が高いため、出生率が低くなっているのではないか。

- ・女性未婚率 30位
- ・男性未婚率 32位
- ・男性正規雇用者比率 35位
- ・女性正規雇用者比率 30位
- ・ひとりあたり所得 21位
- ・未婚女性労働力率 7位
- ・合計特殊出生率 20位

経済的不安・仕事との両立・高齢出産などの何らかの理由で、有配偶出生率が低くなっているのではないか。

- ・有配偶出生率 32位
- ・男性正規雇用者比率 35位
- ・女性正規雇用者比率 30位
- ・ひとりあたり所得 21位
- ・既婚女性労働力率 23位
- ・合計特殊出生率 20位

公共交通・地価・立地・治安などの何らかの理由で、子育て世代が住宅を購入する際に近隣市町へ流出しているのではないか。

昼夜間人口比が2位の働くまちであり就職のため男性19～24歳は転入超過だが子育て世帯の男女25～29歳は転出超過働くまちだが、男性正規雇用者比率は35位加えて、持ち家世帯率は34位一戸建て比率は32位と低順位なため所帯を持った正規雇用者が流出しているのではアンケートから、転出の理由としても多いのは住居の購入10.4% 結婚・出産9.6% 介護・同居5.4%

STEP 2 客観的指標の分析による地域特性の見える化

● 小牧市まち・ひと・しごと創生推進懇談会で少子化の要因仮説について意見を求めた

座長（こども・子育てに関し識見を有する者）

ハイティーン・高校生への支援

- ・結婚や家庭に関する価値観、人間関係の形成を論ずるのであれば20代になってからは遅い
- ・市への愛着醸成につながる

委員（産業に関し識見を有する者）

婚活支援にはプロデュースの視点が必要

- ・出会いの場の提供だけでなく、結婚に至るまでのプロデュースが必要
- ・多様な主体による、共同体験を交えた出会いの場が望ましい

委員（労働者の現状についての識見を有する者）

非正規雇用同士であっても結婚・出産できる支援策が必要

市長

結婚することでかえって経済的に安定するのではという情報発信

経済的な不安で結婚を忌避する価値観の転換を促す

結婚支援のアプローチ層の把握

多様な価値観があるので、支援対象として結婚したいのにできない層をピンポイントに押さえる必要がある

流出抑制

子育て施策は届いているので、住宅や土地の事情を分析した流出抑制が必要

設定した仮説に対する意見・指摘はなし

- ✓ 結婚は、価値観・経済的な問題があり対策の困難さが滲んだ。出会いの場の工夫など、取組の具体的な点について意見があった。
- ✓ 出産は、仮説と同様の見通しで意見が交わされた。
- ✓ 流出は、仮説と同様の見通しで意見が交わされた。



経済的不安・仕事との両立などの何らかの理由で未婚率が高いため、出生率が低くなっているのではないか。

➡ 出会い・結婚支援室が実施した「結婚支援に関するアンケート調査」を分析する。

経済的不安・仕事との両立・高齢出産などの何らかの理由で、有配偶出生率が低くなっているのではないか。

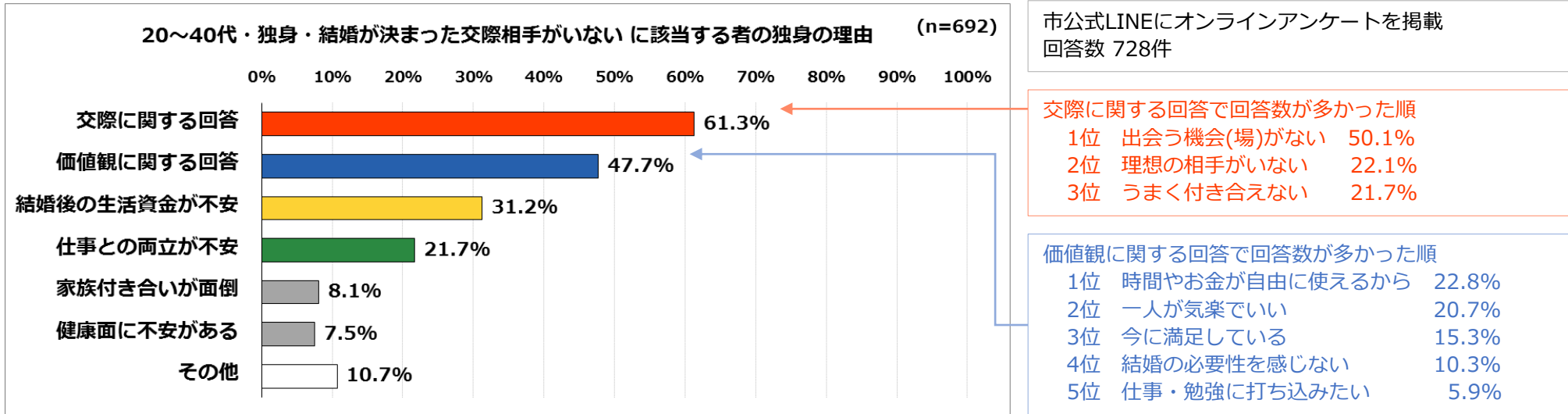
➡ こどものいない夫婦を対象に、出産に関するアンケート調査を実施し、有配偶出生率が低い要因を特定する。

公共交通・地価・立地・治安などの何らかの理由で、子育て世代が住宅を購入する際に近隣市町へ流出しているのではないか。

少子化対策と並行して、定住促進・暮らしやすさの視点が必要。

① 未婚率が高い要因の仮説を主観調査で検証する

(仮説) 経済的不安・仕事との両立などの何らかの理由で未婚率が高いのではないかな。

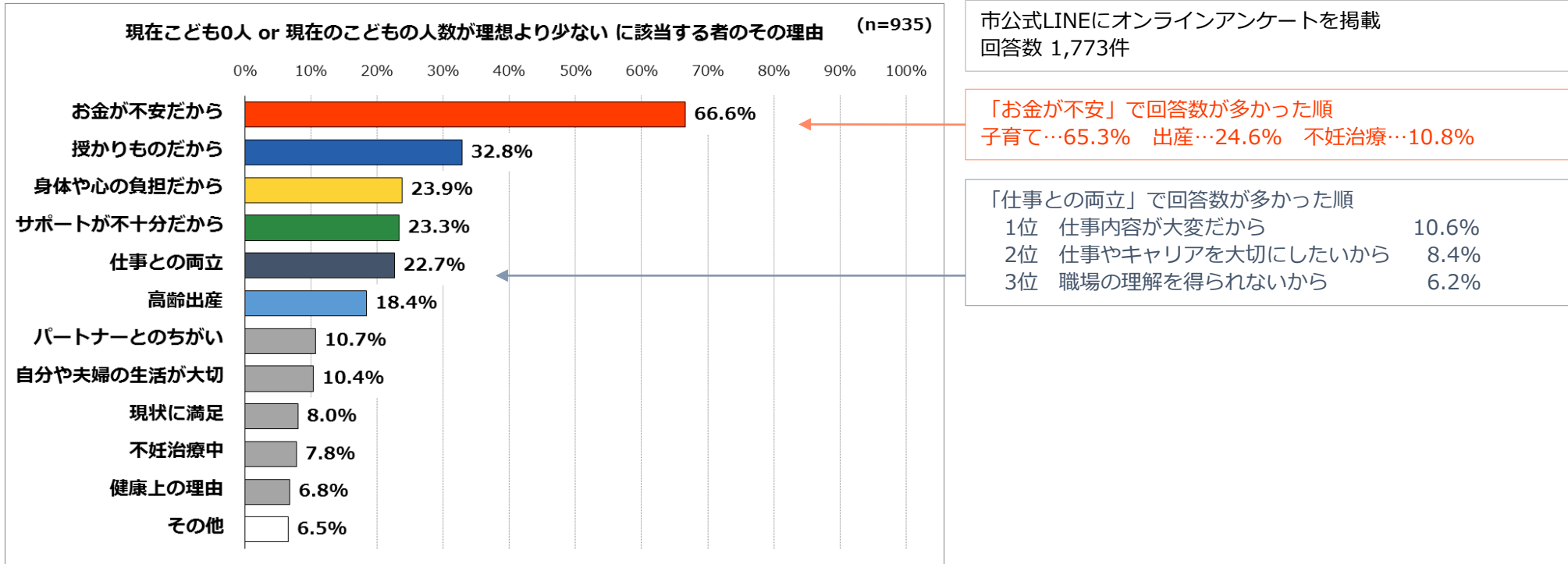


未婚率が高い要因は交際に関する課題によるもの

- ✓ 仮説で設定した「経済的な不安」「仕事との両立への不安」への回答は2～3割に留まった
- ✓ 地域評価指標ではわからなかった「交際に関する回答」の占める大きさがわかった
- ✓ 交際に関する課題において「出会う機会(場)がない」が最も大きな課題だった

② 有配偶出生率が低い要因の仮説を主観調査で検証する

(仮説) 経済的不安・仕事との両立・高齢出産などの何らかの理由で有配偶出生率が低いのではないかな。



有配偶出生率の低さの要因は経済的不安によるもの

- ✓ 「お金が不安だから」の回答が圧倒的に多く、回答者の約6割が選択した
- ✓ 仮説で設定した「仕事との両立」「高齢出産」の回答は約2割に留まった

- STEP 2・3 の結果を踏まえた対応策を検討し、令和6年度中に実施予定

未婚率が高い要因は交際に関する課題によるもの ※P.6



結婚支援委託事業・婚活支援補助金で交際に関する課題に対応

- 地域少子化対策重点推進交付金の地域結婚支援重点推進事業を活用
 - ✓ 出合いの機会（場）づくりを目的としたイベント開催
 - ✓ 結婚に対する悩み等の相談体制 etc.
- 婚活支援補助金で企業や任意団体などが主催する出会い・交流イベントを促進

有配偶出生率の低さの要因は経済的不安によるもの ※P.7



結婚・妊娠・出産・子育てのポジティブな情報発信で経済的な不安に対応

- 結婚・妊娠・出産・子育て情報集約サイトの見直し
- 中～大学生向け ライフデザイン・ライフイベントについて考えるセミナー開催
- 中高生向け 保育士職業体験（乳幼児とのふれあい×保育士不足対策）